

舌はどういう役割をしているの？

舌(した)は、口腔内にある器官で、表面の粘膜と筋肉でできています。

前方約2/3の動かせる舌体部には、4種類の舌乳頭(下図参照)と呼ばれる突起がみられ、味覚に関わっています。

後方約1/3の舌根部には舌扁桃と呼ばれるリンパ組織が無数に見られます。

葉状乳頭や有郭乳頭は大きな乳頭なので、何か悪いできものではないか？と歯医者に相談される方がいますが、正常な舌の構造です。

舌には、主に以下の4つの役割があります。

①味わう

苦味、酸味、塩味、甘味、旨味など
様々な味を感じられる重要な器官。

②食べる

食べ物を頬と挟み込み、歯の上に
乗せることで無意識のうちに効率的に
噛んでいる。

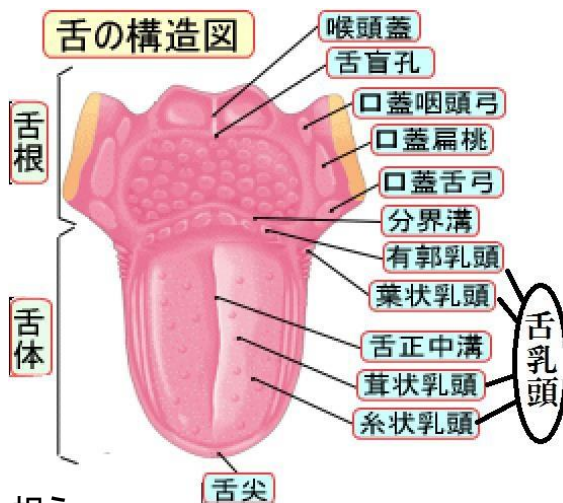
③発音

言葉を喋る際の音の違いを作る機能も担う。

④歯並びを整える

歯を正常な位置に維持するため、舌と頬の筋肉により歯を誘導している。

これらは普段意識しないで行われていますが、舌の重要な役割です。



医療法人社団 哲正会 白川デンタルクリニック



診療時間	月～金	土	日祝
9:30～13:00	○	○	×
15:00～18:00	○	△※	×

※土曜の午後は17:00まで

東京都渋谷区笹塚1-21-12 こえぬまビル3F

TEL 03-3465-6474

